

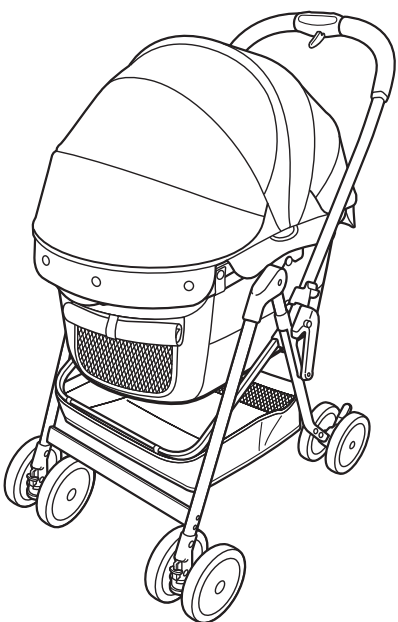
ペットカート miliclan α

取扱説明書



取り扱い説明書ダウンロード

品質保証書付



ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
- この製品は、犬、猫専用ペットカートです。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できるペットの条件：複数のペットを乗せることができる。（総体重は30kg以下）
- ご使用中は、つねにペットおよび周囲の安全にご配慮いただき、公共のルールとマナーを守って、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ここに記載した内容を無視した場合、ペットおよびご使用者のたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、ペットおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
	補足説明

- 警告**
- ペットに異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。
 - 車の中や暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所にペットを入れたまま放置しないでください。
 - 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかみなどの悪路では使用しないでください。
 - 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。
 - ペットを乗せたまま、ペットカートを持ち上げないでください。
 - ペットを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、ペットカートが転倒するおそれがあります。

- ペットのリードを、ハンドルなどにつながないでください。ペットカートが転倒するおそれがあります。
- ペットカートに同時に3匹以上のペットを乗せたり、ペットをキャリア以外のところに乗せないでください。
- ご使用中にハンドルに寄りかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
- ペットは思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ペットカートは空車であっても坂の途中、車道に近しい歩道上など危険な場所に放置しないでください。

- 注意**
- ペットを乗せる以外の目的で使用しないでください。
 - 目的外の使用では破損などのおそれがあります。
 - ペットカートに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
 - ペットカートを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
 - 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 車体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。車体の破損の原因となります。
 - 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ペットカートが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、ステップや後脚ステアーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
 - 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。

- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ペットカートだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。
- 勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、ペットの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認の上、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやカバーおよびベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後脚側に貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けください。取りはずしたままですと思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理・部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

ペットカートの標準使用期間

- ペットカートの「標準使用期間」は「新規購入後5年」です。
- 標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
 - 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
 - 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
 - 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 ペットカート	
本書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	
保証規定	製品名 ロットNo. (後脚側のシールをご覧ください)
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。	保証期間
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。	お買い上げ日
3. 保証期間内で多少のようものは有料修理になります。	年 月 日
(a) プラスチック部品の自然劣化による変色。	TEL
(b) カバーなど、縫製品の傷ややぶれ。	TEL
(c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。	
(d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。	
(e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。	
(f) 本書のご提示がない場合。	
(g) 一般家庭以外で、業務用などに使用され故障した場合。	
4. 有料修理の場合に要する発送運賃。	
(i) 車輪の自然摩耗。	
(j) 紛失の部品。	
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしません。	
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。	

コンビ株式会社

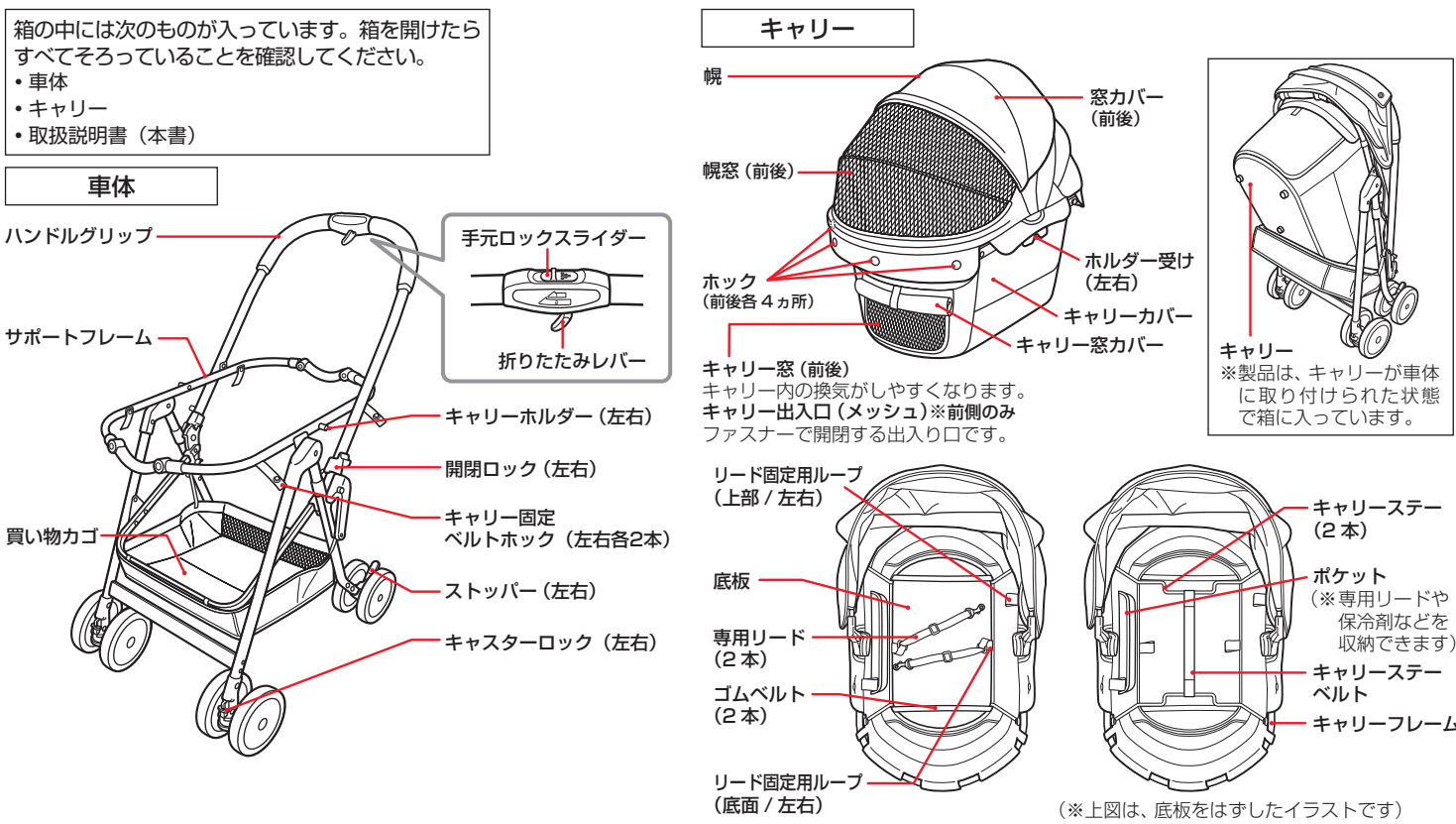
商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271
受付時間：9:30～17:00（土日祝日、年末年始を除く）
車輪は交付（各種で相談）窓口 商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 部品販売 / 各種ご相談 / その他
TEL (048) 797-1104 FAX (048) 798-6109

※ 製品の仕様は改善などのために予告なしに変更することがあります。

175846070 23.09

各部のなまえ



日常のお手入れ

- 縫製品の洗濯について**
- キャリーカバー、底板カバー、買い物カゴの洗濯
 - 水、またはぬるま湯にて手洗いしてください。
 - きつめ洗いはいしないでください。
 - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
 - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
 - 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
 - 網、専用リード、キャリースターベルトの洗濯
 - 網、底板、専用リード、キャリースターベルトは液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
 - 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。
 - 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
 - ※ 網や買い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
 - ※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
 - ※ 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれがありますので使用しないでください。
 - ※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。
- 注油について**
- きしみが発生したり、作動が鈍くなつて注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
 - 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがからない場所に立てて保管してください。

屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

- 注意**
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
 - 車体やキャリーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
 - 車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体が動き出し転倒するおそれがあります。
 - 車体を寝かせて保管する場合は、横向きに寝かせたらないでください。故障や変形の原因となります。

車体の開きかた

- 車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに人（特に小さいお子さま）やペットを近づけずに行ってください。指や手などをはさんだりするおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。車体の破損の原因となります。
- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ペットカートが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、ステップや後脚ステアーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
- 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。

- キャリーを取りはずした場合**
1. 手元ロックスライダをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。
 2. 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。
 3. 完全に開いたことを確認し、折りたたみレバーを離す。自動的に手元ロックスライダがロック位置に戻り、折りたたみがロックされます。

- キャリーを取り付けている場合**
1. 手元ロックスライダをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。左記「キャリーを取りはずした場合」の手順1を参照してください。
 2. 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。
 3. 完全に開いたことを確認し、折りたたみレバーを離す。自動的に手元ロックスライダがロック位置に戻り、折りたたみがロックされます。

車体の折りたたみかた

- 何かに引っかかっていたり、はさま込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ペットカートの破損や荷物のつぶれの原因となります。

- 車体はキャリーを取り付けた状態、取りはずした状態でも折りたたむことができます。
- キャリーを取りはずした場合**
1. 手元ロックスライダをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。
 2. 折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。
 3. 完全に折りたたんだことを確認し、折りたたみレバーを離す。自動的に手元ロックスライダのロックがかかります。

- キャリーを取り付けている場合**
1. 帆を前後どちらかに折りたたむ。
 2. 手元ロックスライダをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。左記「キャリーを取りはずした場合」の手順1を参照してください。
 3. 折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。
 4. 完全に折りたたんだことを確認し、折りたたみレバーを離す。自動的に手元ロックスライダのロックがかかります。

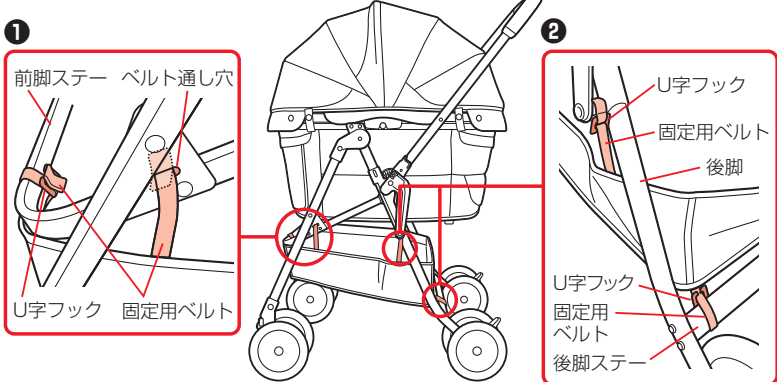
買い物カゴの取り付けかた・使いかた

●5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
●角のどがつたものや、買い物カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。
●荷物の落下や買い物カゴの変形およびぶれの原因となります。

●荷物について
できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにのせてください。

- カゴ前部の固定用ベルトを、前脚ステアーにベルトを巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付け、カゴ前部左右の固定用ベルトを、ベルト通し穴に通し、取り付け。
- カゴ後部と左右の固定用ベルトを、それぞれ後脚と後脚ステアーにベルトを巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付け。

取り付け後、しっかりと固定されているか、引っぱって確認する。



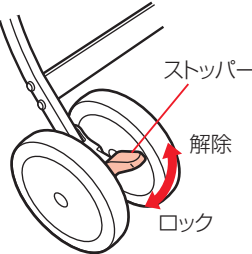
ストッパーの使いかた

ベットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状態や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ベットを乗せたままベットカートから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけてください。ベットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。

空車であっても、ベットカートから離れるときは、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

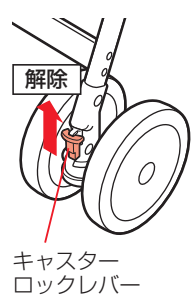
- 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
 - ベットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。
- ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



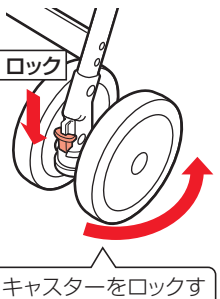
キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。

キャスターロックレバーを上げて、ロックを解除する。



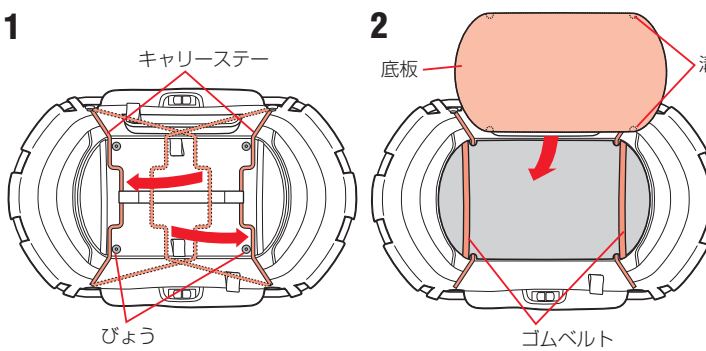
坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターロックレバーを下げてロックする。



キャリーの開きかた・たたみかた

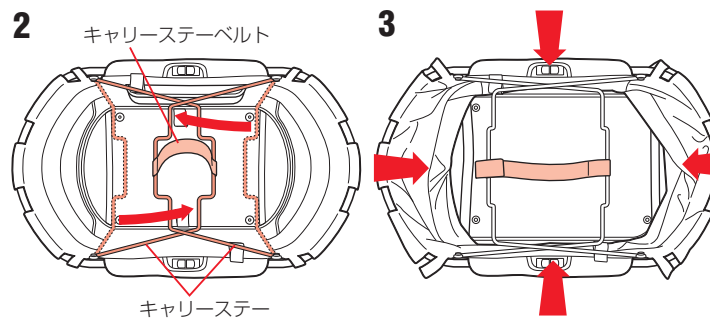
開きかた

- キャリーステアー（2本）を広げる。
底面にある4カ所のびょうを乗り越え、キャリーステアーベルトを完全に伸ばしてください。
- ゴムベルトに底板をくぐらせ、底板の溝とキャリーステアーの位置をあわせて、底板を入れる。
底板は、クッションが入っている面を上にしてください。



たたみかた

- 底板をはずす。
- キャリーステアーベルトを引き上げながら、キャリーステアー（2本）をたたむ。
- キャリーをたたむ。

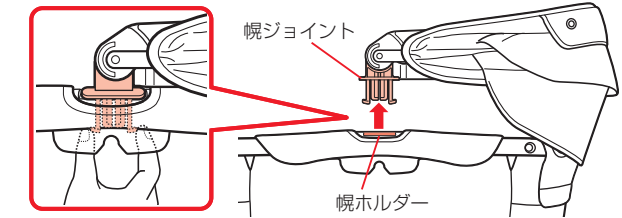


●キャリーステアーを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
●底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
●専用リードは必ず底板の上に出してください。
●使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

幌のはずしかた・使いかた・取り付けかた

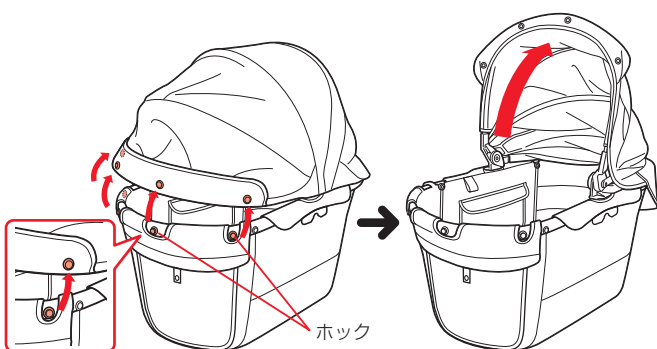
はずしかた

- 幌前後のフック（各4カ所）をはずす。
（右記の「使いかた」参照）
- 幌ジョイント下端のツメをつまみながら、幌ジョイントを幌ホルダーから上に引き抜く。



使いかた

開くとき：幌の前または後のフック（各4カ所）をはずし、幌を開く。
閉じるとき：幌を閉じて、幌前後のフック（各4カ所）でとめる。



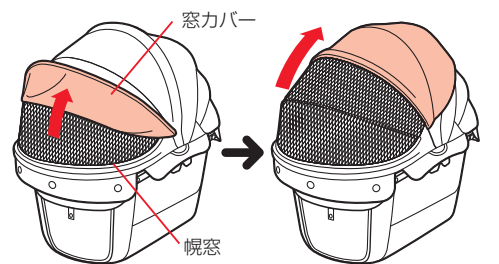
取り付けかた

幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。

幌の取り付け操作は、そばに人（特に小さいお子さま）やベットを近づけずに行ってください。
指や手などをはさんだりするおそれがあります。

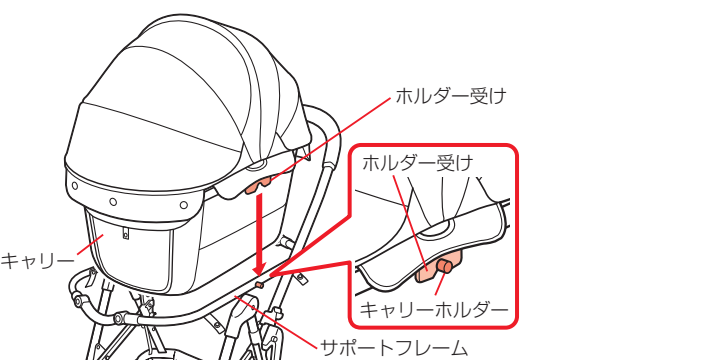
幌窓の使いかた

幌前後の窓カバーをめくり上げ、幌窓を開ける。



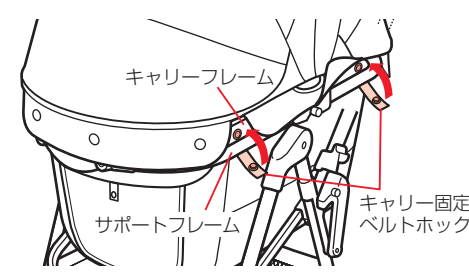
キャリーの車体への取り付けかた

- キャリーをサポートフレームのキャリーホルダーにあわせ、キャリーフレームの前後を持っておろす。



●キャリーを取り付けるときは、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームにとめる。



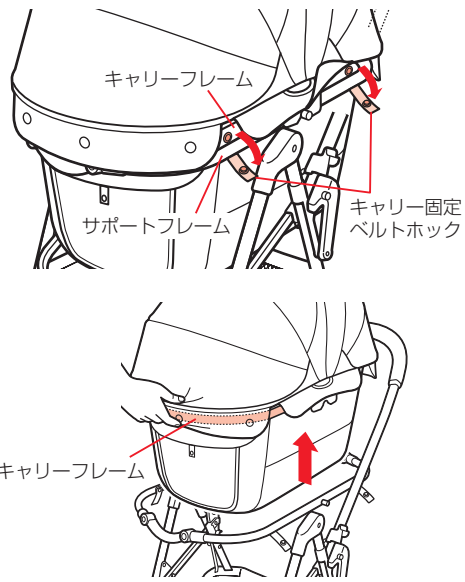
●ベットカートとして使用するときには、必ずキャリー固定ベルトフックをとめてください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーの取りはずしかた

- サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームからはずす。

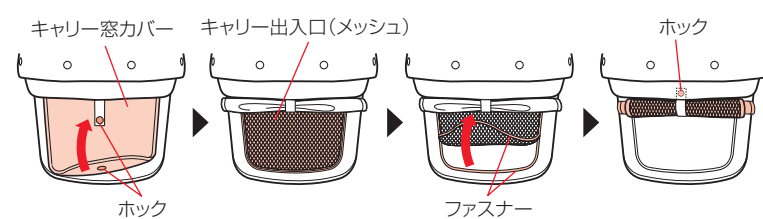
- キャリーフレームの前後を持ってキャリーを持ち上げ、取りはずす。

●キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



キャリー出入口の使いかた

開くとき：キャリー窓カバーをめくり、次にキャリー出入口（メッシュ）のファスナーを開け、図のようにキャリー窓カバーと一緒にまとめてフックでとめる。

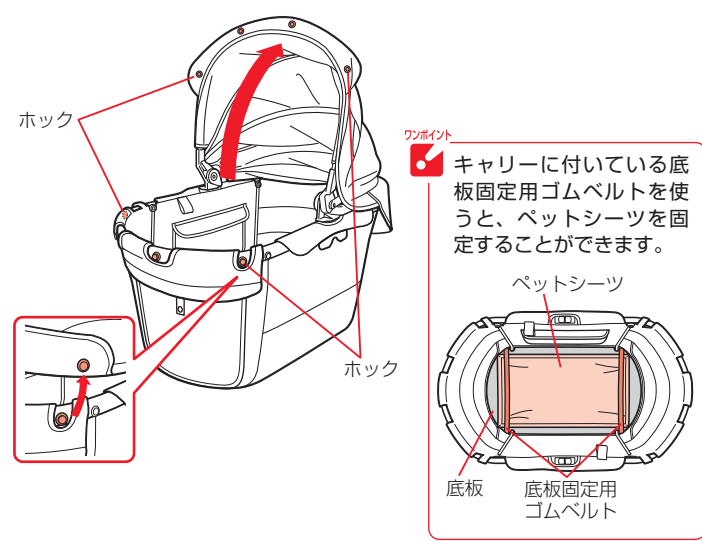


閉じるとき：フックをはずし、キャリー出入口（メッシュ）のファスナーを閉じ、キャリー窓カバーをもとの状態にする。

●ベット（目安の体重は7kg）の大きさや体形により出入りが難しい場合があります。
●車体に取り付けている場合は、キャリー窓の開閉は行わないでください。ベットが落下するおそれがあります。

ペットの乗せかた

- 幌の前または後のフック（各4カ所）をはずし、幌を開く。



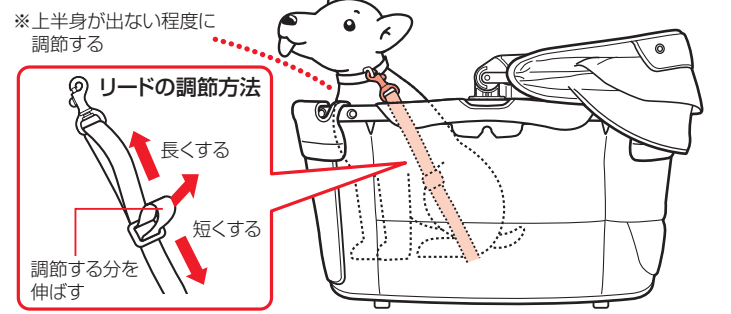
- ペットを乗せて、専用リードにつなぐ。



●キャリーやベットカートとして使用するときには、必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。ペットが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●ペットの乗せおろしの際は、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

- ベットの上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。

ベットに対してリードが届かない場合は、キャリー上部のリード固定用ループを使用してください。

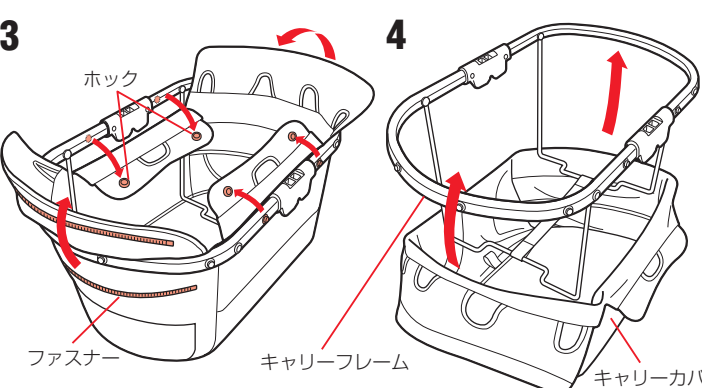


●専用リードの長さは、必ず調節してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
●電車の中で利用する際、周りに人がいる環境では、幌を閉じてください。また、フック（8カ所）が確実にとめてあることを確認してください。

部品の取りはずしかた・取り付けかた

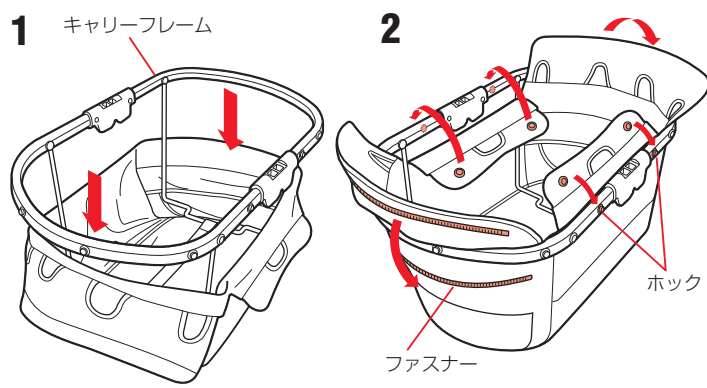
キャリーカバーの取りはずしかた

- 幌をはずす。（「幌のはずしかた」参照）
- 底板をはずす。
- ファスナー（2カ所）をはずし、フック（4カ所）をはずす。
- キャリーフレームからキャリーカバーを取りはずす。



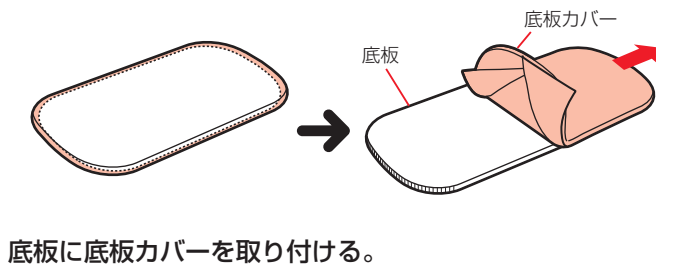
キャリーカバーの取り付けかた

- キャリーステアーを広げてキャリーフレームをキャリーカバーに入れる。
- キャリーカバーのフック（4カ所）をとめ、ファスナー（2カ所）をとめる。

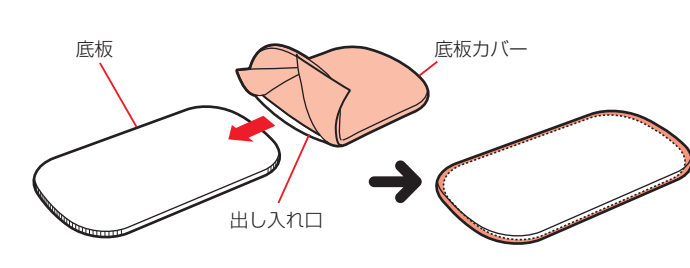


底板カバーの取りはずしかた・取り付けかた

底板から底板カバーを取りはずす。

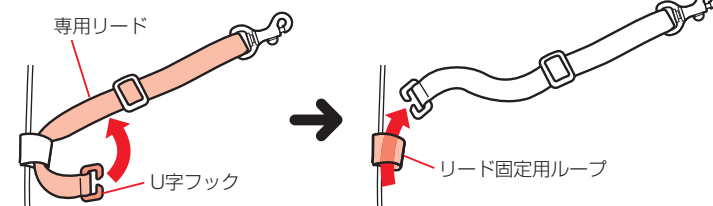


底板に底板カバーを取り付ける。



専用リードの取りはずしかた

U字フックをはずし、専用リードをキャリー底面または上部のリード固定用ループから引き抜く。



専用リードの取り付けかた

キャリー底面または上部のリード固定用ループに専用リードを通し、U字フックを取り付けて固定する。

